

JP2002441

Publication Title:

COMMUNICATION CONTROL NETWORK CALLING SYSTEM

Abstract:

Abstract of JP2002441

PURPOSE:To make it possible to add and change a terminating subscriber to be connected without changing a program and to easily form the program by allowing an OS to hold a communication control network management table so as to control it. **CONSTITUTION:**The communication control network management table 3 stores a name, a telephone number, the name of an operator to be accessed, a group identification(ID) number required at the time of forming a network, etc., in each terminating subscriber and these contents can be optionally changed. Application 1 is a program for executing communication work to plural subscribers and outputs a calling request to a communication control mechanism in the OS 2. The mechanism 20 displays the name of the terminating subscriber by a menu method on the basis of the table 3 within a range that access to a user starting the application 1 is allowed. Operator executes a call to the user selected.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

⑫ 公開特許公報(A) 平2-2441

⑤ Int. Cl.³G 06 F 13/00
H 04 L 12/02

識別記号

3 5 2

庁内整理番号

7737

④ 公開 平成2年(1990)1月8日

7830-5K H 04 L 11/02

Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 通信制御網発呼方式

⑰ 特 願 昭63-147232

⑱ 出 願 昭63(1988)6月14日

⑲ 発 明 者 三 浦 英 敏 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑳ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

㉑ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発 明 の 名 称

通信制御網発呼方式

特 許 請 求 の 範 囲

通信制御網を管理するための通信制御網管理テーブルと、アプリケーションプログラムからの発呼要求に応答して、前記通信制御管理テーブルに基づき、選択可能な相手名を表示し操作者により選択された相手先へ発呼を行い、選択された相手名を前記アプリケーションプログラムへ通知する機能を有することを特徴とする通信制御網発呼方式。

発 明 の 詳 細 な 説 明

〔産業上の利用分野〕

本発明は通信制御網発呼方式に関する。

〔従来の技術〕

従来のこの種の発呼方式は、アプリケーション

ンプログラム(以下アプリケーションと記す)からの要求に基づき固定または半固定的に発呼を行っていた。半固定とは、発呼先の候補をCRT等に表示し、そのうちからオペレータに選択されることを意味する。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来の通信制御網発呼方式は、アプリケーションからの相手局の指定は固定されているため、指定が一つであればそれと異った相手に対し発呼を行なう必要が生じた場合や、複数の指定をしていても、相手先の電話番号が変わったり追加された場合には、アプリケーションごとに対応しなければならないという欠点がある。更に、各アプリケーションごとに作成するのでシステムとしての操作性の統一が図られない欠点もある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明の通信制御網発呼方式は、通信制御網を管理するための通信制御網管理テーブルと、アプリケーションプログラムからの発呼要求に応答して、前記通信制御管理テーブルに基づき、選択可

能な相手名を表示し操作者により選択された相手先へ発呼を行い、選択された相手名を前記アプリケーションプログラムへ通知する機能を有することを特徴とする。

〔実施例〕

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図であり、アプリケーション1、オペレーティングシステム（以下OSと記す）2および通信制御網管理テーブル3から成る。

通信制御網管理テーブル3は、相手先毎に、その、名称、電話番号、アクセスを許されたオペレータ名やネットをはるときに許される相手先のグループ識別番号等を記憶しており、その更新は自由にできる。

アプリケーション1は複数の相手に対して通信業務を行うプログラムであり、OS2内の通信制御下機構20に対して通信制御網に対して発呼要求を出す。

通信制御機構20は、通信制御網管理テーブル3より、アプリケーション1を起動した利用者の

アクセスが許された範囲内で相手先名をメニュー方式で表示する。オペレータがこれらのうちから選択すると選択された相手先へ通信制御網管理テーブル3に基づき発呼を行い、発呼した相手先名をアプリケーション1へ通知する。

この情報により、アプリケーション1は現在通信業務を行っている相手先名を利用者の要求に基づき表示することも可能となっている。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は、通信制御網管理テーブルを、OSが制御できる形で持つことにより、公衆回線を利用したプログラムにおいてプログラムの変更なく接続する相手を変更及び追加することができるため、公衆回線を利用したプログラムの作成が容易になる効果がある。

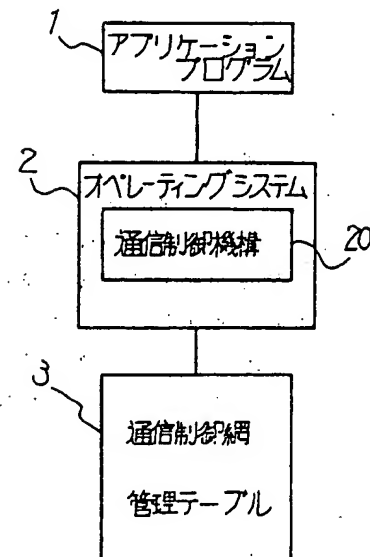
また、公衆回線を利用したプログラムが全て本発明の機能を利用することを操作上の統一が図られる。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。

1……アプリケーション、2……OS、3……通信制御網管理テーブル、20……通信制御機構。

代理人 弁理士 内 原 晋



第 1 図